



2018年2月期第2四半期

(2017年3月1日～2017年8月31日)

決算説明会

わらべや日洋ホールディングス株式会社

(2918)

2017年10月11日



2018年2月期第2四半期業績報告 および2018年2月期業績予想



2018年2月期第2四半期連結業績

(単位:百万円)

	2016.8期	2017.8期		前年 同期比	期初予想比
	実績	期初予想	実績		
売上高	109,658 (100.0)	113,700 (100.0)	112,300 (100.0)	2,641 <2.4>	△1,400 <△1.2>
営業利益	3,027 (2.8)	3,400 (3.0)	3,211 (2.9)	184 <6.1>	△188 <△5.5>
経常利益	3,287 (3.0)	3,550 (3.1)	3,576 (3.2)	288 <8.8>	26 <0.8>
四半期 純利益 (当社株主に帰属)	1,644 (1.5)	2,350 (2.1)	2,147 (1.9)	502 <30.6>	△202 <△8.6>
EPS(円) (当社株主に帰属)	93.78	133.99	122.44	28.66	△11.55

* () 内は売上比率 (%)、<> 内は増減率 (%)、2017.8期予想は2017年4月14日発表の予想数値

期初予想との差異要因

(単位:百万円)

	2017.8期		予想差異
	期初予想	実績	
売上高	113,700 (100.0)	112,300 (100.0)	△1,400 <△1.2>

【差異要因】

食品関連事業	△10.9億円
チルド弁当	△7.3億円
調理パン	△6.3億円
食材・物流・その他	△3.0億円

(単位:百万円)

	2017.8期		予想差異
	期初予想	実績	
営業利益	3,400 (3.0)	3,211 (2.9)	△188 <△5.5>

【差異要因】

食品関連事業	△2.1億円
食材・物流・その他	+0.2億円

* () 内は売上比率 (%)、<> 内は期初予想比増減率 (%)、2017.8期予想は2017年4月14日発表の予想数値

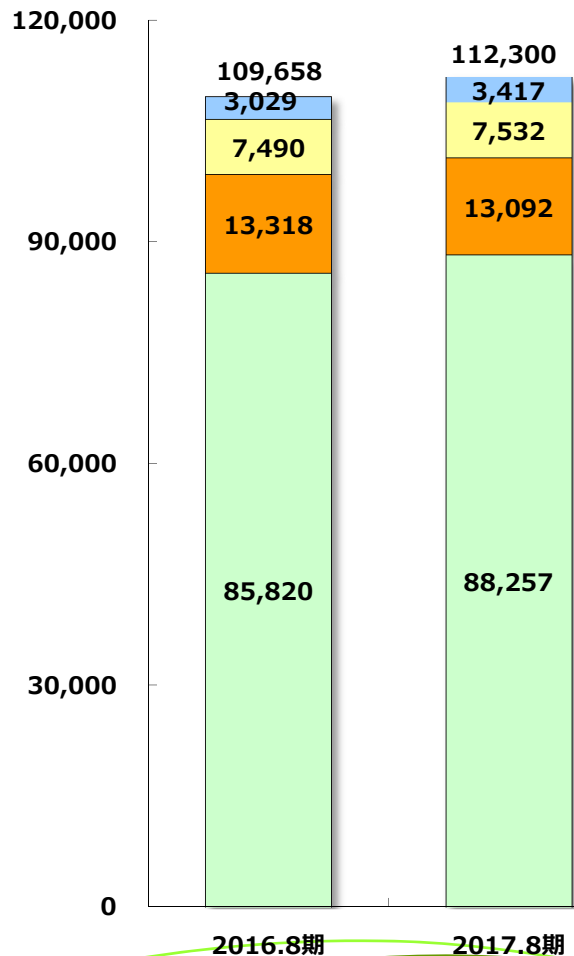
セグメント別売上高の状況(前年同期比)

(単位:百万円)

* <> 内は増減率 (%)



(百万円)

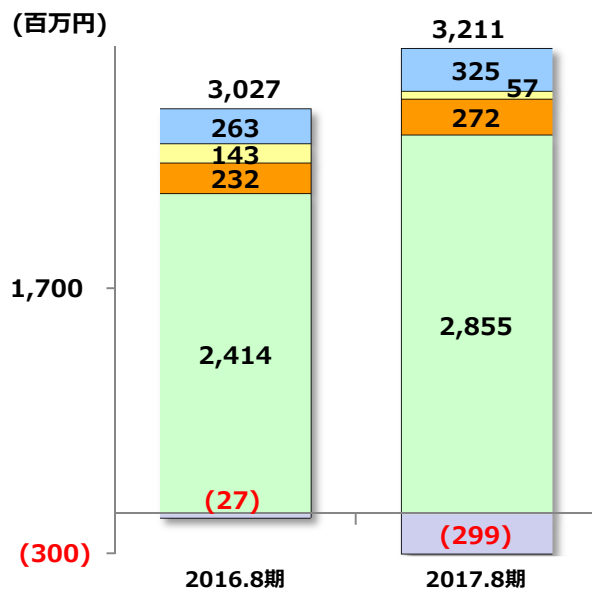


	2016.8期	2017.8期	増減	増減要因
売上高合計	109,658	112,300	2,641 <2.4>	
食品関連	85,820	88,257	2,437 <2.8>	「おにぎり」や「和菓子」の好調
食材関連	13,318	13,092	△225 <△1.7>	「魚卵」「鶏加工品」売上減
物流関連	7,490	7,532	41 <0.6>	セブン-イレブン向け共同配送事業の増収率の鈍化
その他	3,029	3,417	387 <12.8>	人材派遣事業の受注増

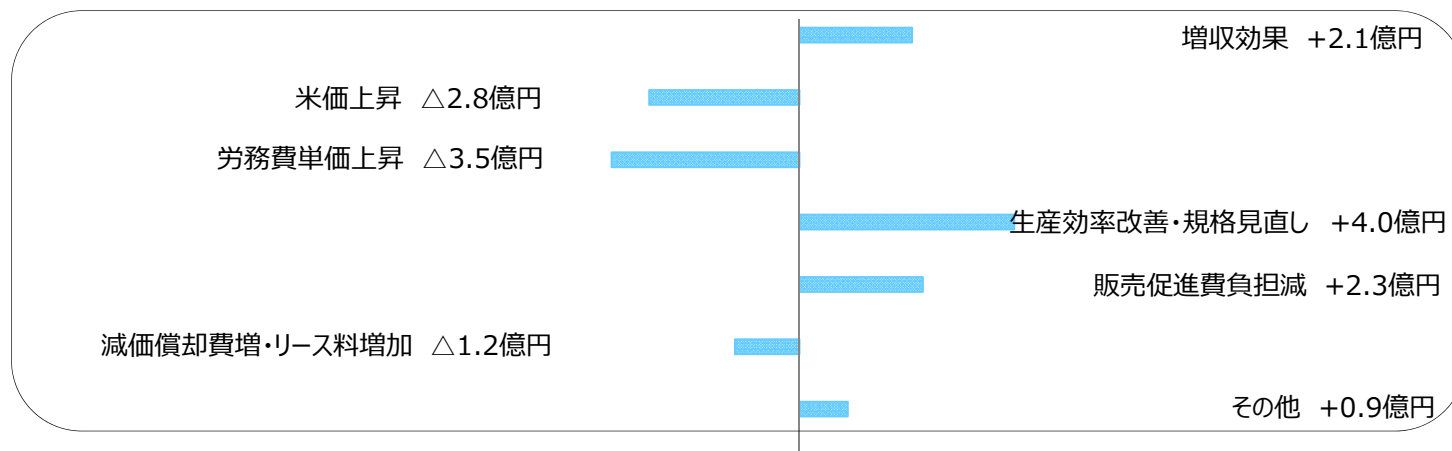
セグメント別営業利益の状況(前年同期比)

■ 食品関連事業
 ■ 食材関連事業
 ■ 物流関連事業
■ その他の事業
 ■ 消去

(単位:百万円) * <> 内は増減率 (%)



	2016.8期	2017.8期	増減
営業利益合計	3,027	3,211	184 <6.1>
食品関連	2,414	2,855	441 <18.3>
食材関連	232	272	40 <17.3>
物流関連	143	57	△86 <△60.1>
その他	263	325	61 <23.2>
全社費用・消去	△27	△ 299	△272 <->



減少要因計 △7.5億円

前年同期比 約1.8億円増

増加要因計 +9.3億円

営業外損益・特別損益のポイント(前年同期比)

(単位：百万円)

	2016.8期	2017.8期	増減
営業利益	3,027 (2.8)	3,211 (2.9)	184 <6.1>
営業外収益	483 (0.4)	532 (0.5)	48 <10.0>
営業外費用	223 (0.2)	167 (0.1)	△56 <△25.1>
経常利益	3,287 (3.0)	3,576 (3.2)	288 <8.8>
特別利益	- (-)	- (-)	- <->
特別損失	450 (0.4)	562 (0.5)	112 <25.0>
税金等調整前 四半期純利益	2,837 (2.6)	3,013 (2.7)	176 <6.2>
法人税等合計	1,193 (1.1)	866 (0.8)	△326 <△27.3>
四半期純利益 (当社株主に帰属)	1,644 (1.5)	2,147 (1.9)	502 <30.6>

(特別損失)

前期：	4.5億円
・日洋 フレボファーム南アルプス農場固定資産減損 にともなう、関係会社事業損失引当金繰入	
当期：	5.6億円
・わらべや日洋 釧路工場減損	3.7億円
・日洋 日鰻に対する貸倒引当金繰入	1.8億円

(税金費用増減)	△3.2億円
フレボファーム向け引当金税効果適用影響	△3.7億円
前期末適用	+1.5億円
当期適用	△2.1億円

* () 内は売上比率 (%) <> 内は増減率 (%)

連結貸借対照表のポイント(前期末比)

(単位：百万円)

【資産】	2017.2期	2017.8期	増減
流動資産	36,316	38,584	2,267
固定資産	47,561	50,572	3,011
(有形固定資産)	(41,427)	(44,080)	(2,653)
(無形固定資産)	(920)	(962)	(42)
(投資その他)	(5,213)	(5,529)	(315)
資産合計	83,877	89,157	5,279

(単位：百万円)

【負債・純資産】	2017.2期	2017.8期	増減
流動負債	26,660	30,689	4,028
固定負債	14,040	13,998	△41
(有利子負債)	(12,730)	(13,510)	(779)
負債合計	40,700	44,688	3,987
純資産合計	43,176	44,468	1,291
(利益剰余金)	(26,858)	(28,301)	(1,442)
負債・純資産合計	83,877	89,157	5,279

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

	2017.8期	(単位：百万円)
税金等調整前四半期純利益	3,013	
減価償却費	2,471	
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,682	
たな卸資産の増減額 (△は増加)	693	
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,226	
未払金の増減額 (△は減少)	792	
その他	455	
小計	5,971	
法人税等の支払額	△473	
その他	297	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,794	
有形固定資産の取得による支出	△3,899	
その他	△757	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,656	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,190	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	
現金及び現金同等物の増減額	△1,172	
現金及び現金同等物の期首残高	10,937	
現金及び現金同等物の期末残高	9,764	

2018年2月期 連結業績予想（期初予想比）

	期初予想（単位：百万円）				修正予想（単位：百万円）		
	上期	下期	通期		上期実績	下期	通期
売上高	113,700 (100.0)	107,300 (100.0)	221,000 (100.0)		112,300 (100.0)	107,300 (100.0)	219,600 (100.0)
営業利益	3,400 (3.0)	1,200 (1.1)	4,600 (2.1)		3,211 (2.9)	939 (0.9)	4,150 (1.9)
経常利益	3,550 (3.1)	1,150 (1.1)	4,700 (2.1)		3,576 (3.2)	874 (0.8)	4,450 (2.0)
当期純利益 (当社株主に帰属)	2,350 (2.1)	150 (0.1)	2,500 (1.1)		2,147 (1.9)	353 (0.3)	2,500 (1.1)

	差異			要因
	上期実績	下期予想	通期予想	
売上高	△1,400 <△1.2>	0 <0.0>	△1,400 <△0.6>	上期 ◆売上高 - 食品関連事業の伸び率が想定を下回ったこと （チルド弁当売上高の計画未達、中京地区売上の計画未達） ◆営業利益 - 一部工場の稼働率が想定を下回ったこと - 原材料価格の上昇 下期 ◆売上高 - 期初計画どおり ◆営業利益 - 新工場収支改善の遅れ - 原材料価格の上昇
営業利益	△188 <△0.2>	△261 <△0.2>	△450 <△0.2>	
経常利益	26 <0.0>	△276 <△0.3>	△250 <△0.1>	
当期純利益 (当社株主に帰属)	△202 <△0.2>	202 <0.2>	0 <0.0>	

* () 内は売上比率 (%)、<> 内は増減率 (%)



下期の取組み 今後に向けての施策

食品関連事業売上高の未達

1. チルド弁当売上高の計画未達

ハンバーグ弁当がチルド帯から20℃帯に変更

競争激化

2. 中京地区売上高の計画未達

競争激化による売上シェアの低下

下期重点施策 食品関連事業 – チルド弁当

1. チルド弁当売上高の計画未達に対する施策

(1) 売れ筋定番商品のリニューアル

ローズかつ丼：原料の調達や調理工程などの見直し

→おいしさはそのままに価格の引き下げを実現

親子丼：かえしの見直し

→品質を向上させ、よりおいしく



こだわりのローズかつ丼
(税込580円)



特製ローズかつ丼
(-)



ふわとろ玉子のこだわり親子丼
(税込450円)



ふわとろ玉子のこだわり親子丼
(税込450円)

下期重点施策 食品関連事業 – チルド弁当

1. チルド弁当売上高の計画未達に対する施策

(2) 新商品の投入

(メンチカツカレー、エビチリ丼、オムライス等)



メンチカツカレー
(税込498円)



エビチリ丼 (予定)
(税込498円)

2. 中京地区売上高の計画未達に対する施策

(1) 商品開発体制の強化(人材投入)

→シェアの回復トレンドの維持

→売上・利益の回復、拡大

下期重点施策 食品関連事業 – 中京地区

2. 中京地区売上高の計画未達に対する施策

(2) 新商品の投入

地元になじみのある商品をリニューアル



鶏ちゃん焼き弁当
税込498円
11月中旬～

おにぎりの開発を強化



直巻混ぜ飯おむすび どりめし
税込130円
8/14～

(株)日洋との取組み
地産地消



ふっくらしらす御飯
税込298円
9/5～



シェア回復基調を維持し
下期以降の反転攻勢につなげる

継続的な課題への取り組み

課題1. 人手不足、労務費の上昇

- 外国人技能実習生の受入継続
- 「働き方改革」による社員の定着化
- 機械化、省力化のさらなる推進
- 内製化→外部調達

課題2. 原材料価格の上昇

- 商品規格の見直し

今後に向けての施策

1. 新規カテゴリーへの取り組み

スムージーのテスト販売を首都圏内5店舗で実施（9月26日～）

2. 成長のための投資を継続

→相模原工場にチルド弁当製造設備（2017年10月）

→堺工場にチルド弁当製造設備等（2018年3月予定）

→名古屋工場に和菓子製造設備（2018年6月予定）

→東京工場拡張工事（2018年11月予定）

→入間に定温事業所（2018年2月に稼動予定）

3. 「フードロスプロジェクト」の始動

社会的責任を果たすとともに、利益率の改善につなげる

その他の施策

Prime Deli Corporation(以下PD社)の子会社化を決定 WPM※社による株式追加取得を段階的に進める予定

1. 出資比率推移

2017年10月11日現在 19.3% → 2017年10月(予定) 90% → 2019年1月(予定) 100%

2. 2019年2月期に連結子会社とする予定

(参考)

2017年3月期

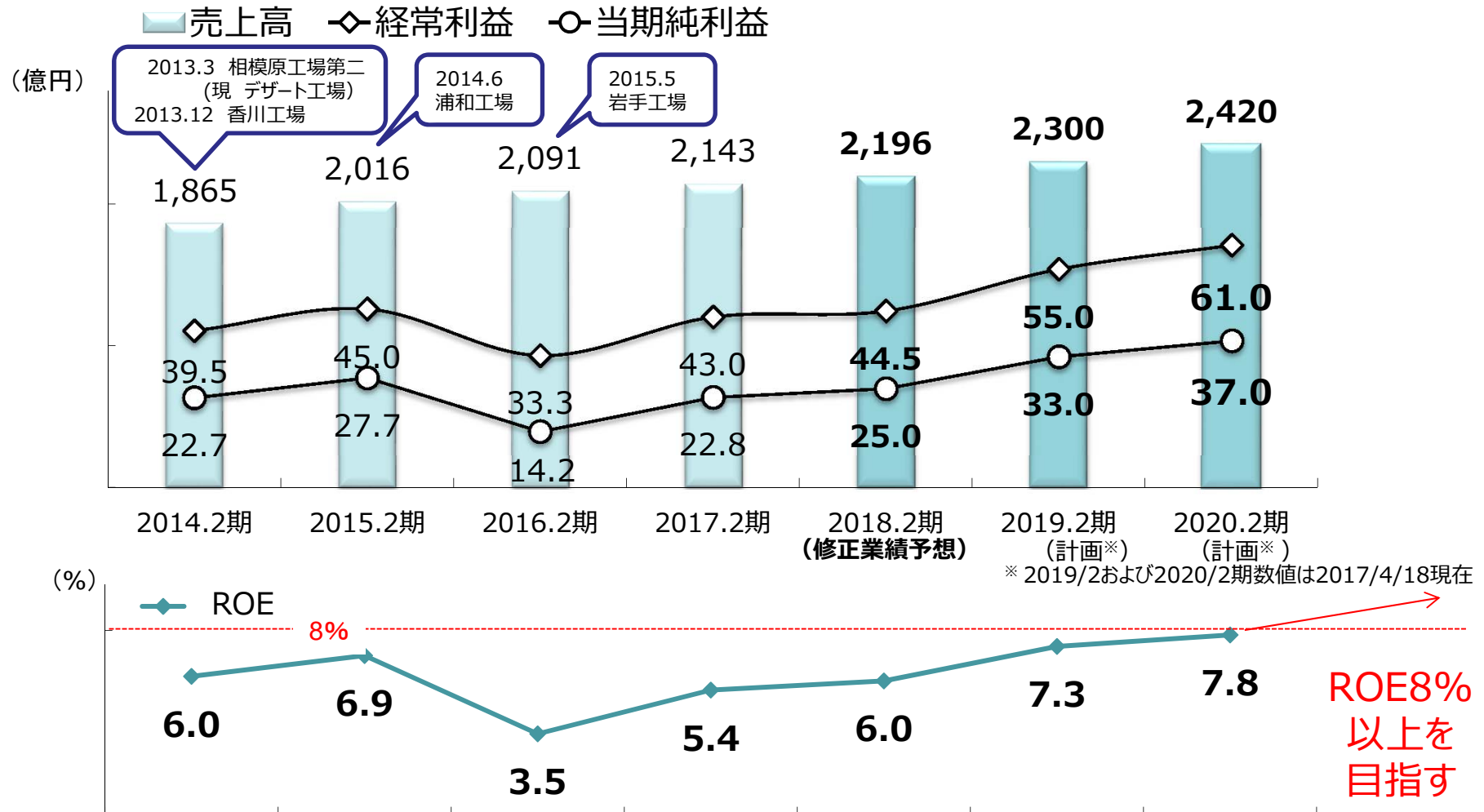
売上高 : 25,933千米ドル (約 29億円)

営業利益 : 2,102千米ドル (約2.3億円)

1ドル = 113円

※WPM社は、三井物産(株)米国子会社と当社100%子会社であるWARABEYA USAの合併会社
当社の出資比率は70%

中期経営計画 (連結)



グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

Warabeya
Nichiyō

Warabeya
USA

NICHIYO

Warabeya
Nichiyō HLDGS.

Bestrans

PROSYSTAS

Socialink

その他関連事業

国内

株式会社 日洋フレッシュ

株式会社 サンフーズ横倉

株式会社 日鰻

国外

北京旺洋食品有限公司

北京日洋欣榮商貿有限公司

WPM Foods, LLC